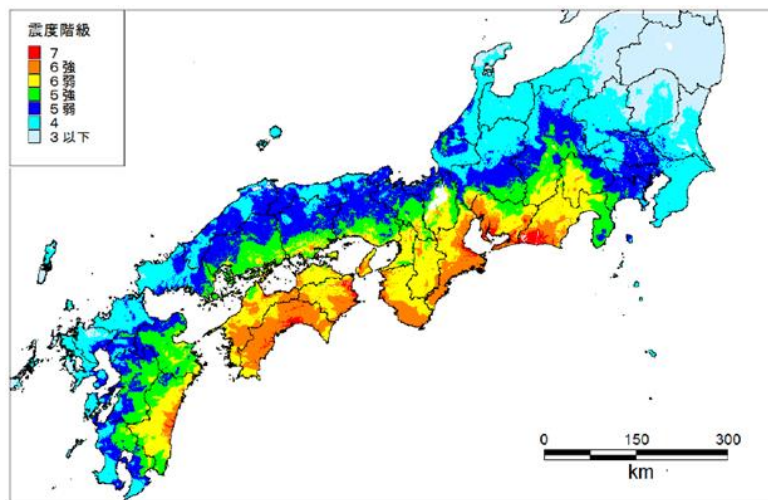


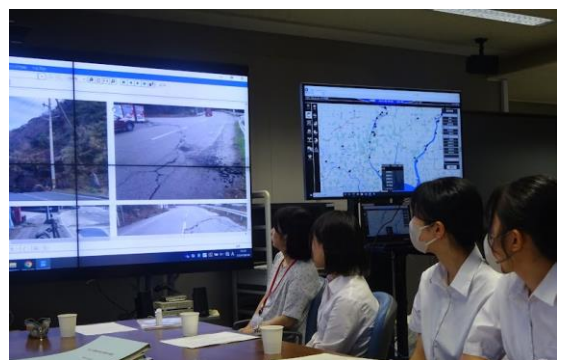
第22話 いつか必ず起こる巨大地震に備えて

2024年8月8日の日向灘を震源とする地震により、多くの方が南海トラフ地震に特に警戒する数週間を過ごし、改めて、この危機感や関心を持続させる必要があると考えました。



「南海トラフ巨大地震の震度分布」 (気象庁ホームページより)

災害時において、一人でも多くの方が安全に避難し、避難所生活における不安を減らせるよう、岡山市では、どのような取り組みをされているのかを岡山市の危機管理室にインタビューしました！



危機管理室にて

Q 1. 危機管理室は市民に向けて防災について啓発するとき、どのような工夫をされていますか。

- A. 興味を引きそうな話題から始めて、それに関連した解説をするようにしています。できるだけ、わかりやすい説明をこころがけ、関心をもっていただき、日ごろの備えにつなげていきます。

<啓発事業の例>

- ・ 出前講座
- ・ 市役所 1 階でのパネル展示
- ・ 地域説明会
- ・ イベントの開催



Q 2. 町内会単位の防災訓練では参加者が集まりにくいと聞いています。参加者を増やす方法は何かありますか。

- A. 単独の防災訓練だけでは、なかなか集まりにくいので、町内会で、もともとあった行事に防災訓練を取り入れるなど参加しやすい環境をつくることが挙げられます。

地域では関心のある人たちしか来ない



前回の防災イベントは
イオンモール岡山の 1 階で開催して
関心のない人も参加しやすいようにした

そこで

Q3. 災害時の情報収集について注意することを教えてください。

- A. 災害時には、SNSなどで様々な情報が飛び交い、この中には真偽のわからない、いわゆるデマ情報が含まれていることがあります。

デマ情報を拡散させないためにも、情報発信者の過去の投稿などを確認し、情報の真偽を確かめて、冷静に対処してください。

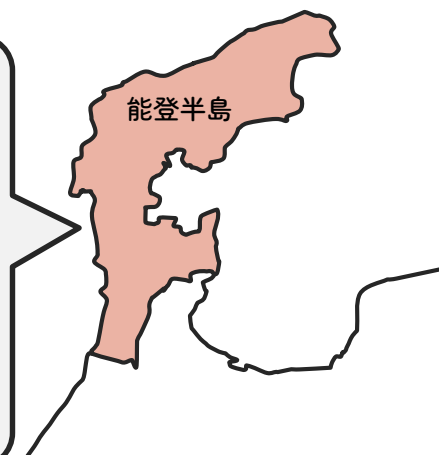


Q4. 能登半島地震の際に、どのような支援をされましたか。

- A. 岡山市は、令和6年1月8日から4月13日までの約3カ月間、石川県志賀町へ職員派遣を行いました。主に、在宅避難者調査、給水業務補助、罹災証明準備・受付、電話対応等の支援を行いました。



応援職員の派遣



Q5.SDGsに関連した取り組みは何をされていますか。



11番「災害に強いまちづくりを」

防災に関する出前講座などにより、市民一人ひとりの防災意識を向上させ、災害に強いまちづくりを目指しています。



5番「ジェンダー平等を実現しよう」

だれもが安心して避難所生活できるよう、女性やLGBTQの方等に配慮した避難所運営ができる仕組みづくりをしています。



12番「つくる責任つかう責任」

消費期限間近の備蓄食料を地域の防災訓練等で実際に食べてもらうなど有効活用をして、フードロス0に貢献しています。

<インタビューを通しての感想>

能登半島地震の支援について貴重なお話を聞かせていただきました。

どういったことに人手がいるのか疑問に思っていましたが、壊れてしまった家の被災調査や在宅避難者調査などへの支援が必要であるということを知ることができました。